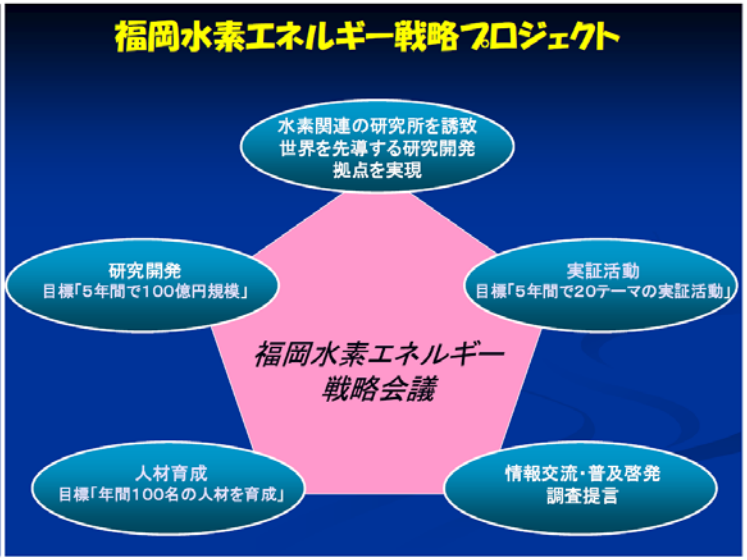
福岡水素エネルギー戦略会議の設立（2004年８月３日））

設立の経緯

・九州大学が、水素利用技術の研究開発について、文部科学省の21世紀COEプログラム（平成15年度）に採択され、「水素利用技術研究センター」を発足（平成16年4月）。
・福岡県内には、燃料電池自動車の生産拠点となりうる自動車産業や副生水素を保有する企業群が集積。
・これらのポテンシャルをいかし、環境にやさしい水素利用社会の実現を先導する地域の形成を図るため、九州大学を中心とする産学官連携のもと、「福岡水素エネルギー戦略会議」を創設。

会議の目的・体制・主要事業

水素生成、貯蔵・輸送から利用まで一貫した研究開発・実証活動に加え、人材育成を実施し、世界を先導する研究開発拠点を形成。



（21世紀COEプログラム）

・「大学の構造改革の方針」(平成13年6月)に基づき、平成14年度から文部科学省の事業（研究拠点形成費等補助金）として措置。
・我が国の大学に世界最高水準の研究教育拠点を形成し、研究水準の向上と世界をリードする創造的な人材育成を図るため、重点的な支援を行うことを通じて、国際競争力のある個性輝く大学づくりを推進。

福岡水素エネルギー戦略会議HPをもとに作成